

I 校 訓 「自立・協同・敬愛」

II 学校教育目標

ふるさとを愛し、夢や希望を持ち、自らを高める奥佐津っ子の育成  
一人一人の「よさ」を認め、支え励ます教育を基盤として

めざす児童像

- 自ら学び、考え、進んで行動する子
- 豊かな心を持ち、自他を大切にする子
- 体を鍛えるたくましい子
- 自分の力で、がまん強く最後までやりぬく子
- 夢や目標を持ち、新たなことに挑戦する子
- ふるさとを大切にする子

めざす学校像

- 子どもと教師の瞳が輝く学校
- 元気なあいさつが響き合う学校
- 人権文化の高い学校
- 家庭・地域に開かれた学校
- 安全・安心な学校
- 情報発信に努め、家庭・地域との協働化をめざす学校
- 言語環境が整った学校

めざす教師像

- 授業を大切にする教師
- 教育への熱い願いを持ち、子どもとともに学ぶ教師
- 人権感覚を磨く教師
- 自己研鑽に励み、指導力の向上に努める教師
- 危機管理意識の強い教師
- 心身ともに健康で快活な教師

III 学校教育の視点

「学校は、子どもたちのために存在する。」私たち教職員は、強い使命感と高い倫理観を持ち、子どもたちはもちろん保護者・地域住民から寄せられる期待や信頼に応える「教えるプロ」として、指導力をはじめとする資質能力の向上に絶えず努めながら、一人一人の子どもを持つよさや可能性の伸張を図り、夢や希望の実現を支援すべき責務を負う。

さらに、5年目を迎える学校間スーパー連携チャレンジプランを一層充実させ、成果を上げてきた小規模校の「強味」であるきめ細やかな指導に、多人数授業による教育効果を相乗させ、全教職員の協働・経営参画意識の向上による充実した学校運営を推進する。

- ① 子どもを学校・学級の主人公に据えた教育に徹する
- ② 学び合い、磨き合い、高まり合い、笑顔があふれる学校の構築に努める。
- ③ 安心・安全な学校づくりを推進する。
- ④ 保護者や地域の願いを真摯に受け止め、連携し、地域に開かれた学校づくりを推進する。
- ⑤ 地域の豊かな自然や人・文化・伝統等の恵まれた教育環境・資源を活かす学校づくりを推進する。
- ⑥ 報告・連絡・相談を根底に据えた情報と課題の共有化に努め、相互の信頼感に立つ一枚岩たる強固な教職員組織を構築し、学校教育目標の具現化を図る。

IV 校内研修テーマ 個の力を高め、主体的に学習する児童の育成

～書く活動を生かして表現する、個に応じた学習指導の充実～

## V 具体的な取組—「生きる力」をはぐくむ—知・徳・体の調和がとれた人間の育成

### (1) 学校で学ぶ

確かな学力づくり (知)	豊かな心づくり (徳)	健やかな体づくり (体)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎・基本の確実な定着と活用する力の育成に努める。</li> <li>○ 自ら学び、考え、行動する意欲・態度・能力を育てる。</li> <li>○ 学ぶ喜びを共有し、互いに高め合う授業づくりをする。</li> <li>○ 少人数の利点を活かし、課題を克服する指導形態・内容の充実に努め、個に応じたきめ細やかな指導を推進する。</li> <li>○ 次の指導に生かす評価の充実に努める。</li> <li>○ 「学校間スーパー連携チャレンジプラン」の評価・検証を実施し、実効性の向上を図る。</li> <li>○ 子どもが安心して学習できる場となる学級づくり・学校づくりを推進する。</li> <li>○ 読書環境の整備に努め、子どもたちの言語活動充実に努める。</li> <li>○ 地域の教育資源の活用・外部講師の招聘・出前授業の実施等、多様な教育活動を推進し、学習意欲の向上を図る。</li> <li>○ ICT を活用した学習指導の充実に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道德教育を推進するため、道德の時間の充実・兵庫県版道德教育副読本の活用法の研究・地域道德教材の開発・資料の共有化等に努める。</li> <li>○ 体験活動等を充実させ、自他の命を重んじる心・共生の心を育成するとともに、「とちの実学級」の理念・意義を継承する教育課程の編成・実施に努め、人権教育の充実に努める。</li> <li>○ 家庭・地域と連携したあいさつの励行等に努め、基本的生活習慣の確立を図る。</li> <li>○ 子どもと向き合う時間の確保に努め、教師との人間関係の構築・深化を図る。</li> <li>○ 言語環境の整備・教師自身の人権感覚の研磨等に努め、人権文化の高い学校づくりを推進する。</li> <li>○ 異年齢集団による活動を通して思いやりの心・自己有用感を醸成する。</li> <li>○ 地域の災害特性を踏まえた防災教育を充実させ、危機管理意識と防災リテラシーの向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育授業の創意工夫や全校体育の充実に努め、運動好きな子どもを育て、基礎体力の向上を図る。</li> <li>○ 休憩時間等を活用した継続的な体力づくりを推進するとともに、生涯スポーツに資する運動の習慣化を図る。</li> <li>○ 外遊びを推進する。</li> <li>○ 健康・安全の指導を徹底し、生命尊重の精神を養う。</li> <li>○ 健康教育、食に関する教育を推進し、望ましい生活習慣・食習慣の確立を図る。</li> <li>○ 養護教諭による家庭への積極的な情報発信に努め、保護者への啓発を推進する。</li> <li>○ 特別な支援が必要な子どもへの支援は特別支援コーディネーターを中心に全教職員の連携・協働により充実させ、心身の安定を図る。</li> <li>○ 村岡ミニミニ駅伝大会、香美町小学生卓球大会、兵庫県小学生陸上競技大会等への参加をとおして体力の向上と個性伸張を図る。</li> </ul>

### (2) 家庭でしつける

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭での学習習慣定着を一層図るため、家庭訪問・学級懇談会等で情報交流するとともに、個に応じたきめ細かな家庭学習指導に努める。</li> <li>○ 読書活動と連動した望ましい学習環境の整備(テレビ・ゲーム等の時間削減等)を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的生活習慣(あいさつ、返事、手伝い等)の定着を図る。</li> <li>○ 社会規範の基礎(善悪の判断・公共心等)を具体的事例により継続的に指導し、定着を図る。</li> <li>○ 地域行事(差別をなくする町民の集い等)・学P活動・ボランティア活動への積極的参加を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 早寝・早起き・朝ごはんの習慣化と睡眠時間の確保に努める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年 9時間以上</li> <li>・高学年 8時間以上</li> </ul> </li> <li>○ バランスの良い食事・排便の習慣化・スポーツや外遊び、集団遊びへの支援に努める。</li> </ul>
--	--	---

### (3) 地域で育てる

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人材の発掘・登用・活用に努める。</li> <li>○ 地域の人・自然・文化・伝統・歴史等を学ぶ活動・機会を通して地域への理解・愛着を深める。</li> <li>○ オープンスクール参加等、開かれた学校づくりを推進する。</li> <li>○ 図書ボランティアの支援・協力を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域行事(敬老会・体育祭・祭礼等)への積極的参加を推進する。</li> <li>○ 地域全体でのあいさつ運動を推進する。</li> <li>○ 地域美化活動等への参加を推進する。</li> <li>○ 土曜チャレンジ学習に参加して、自然、歴史、文化、人材に学ぶ体験活動を通して地域の価値を見出す交流学习に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツクラブ21による諸活動への積極的参加を推進する。</li> <li>○ 香美町小学生卓球大会、香美町剣道大会等、地域のスポーツ行事への積極的参加を促す。</li> <li>○ ラジオ体操、ウォーキングの普及啓発に努め、町民運動としての体力づくりを促す。</li> </ul>
---	---	--

